

UART_IrDA

1. 動作概要

100ms周期で赤外線データフォーマット(IrDA)でテストデータを出力する。

2. 各設定

UART : TXD2(Port93)

送信ストップビット長 : default = 1ビット main.c : "#define UART_TRANS_STOP_BIT_LENGTH"の値を変えることで送信ストップビット長を変更できます。

パリティ付加 : default = パリティなし main.c : "#define UART_PARITY"の値を変えることでパリティ付加設定を変更できます。

TXD端子の出力選択 : IrDA出力(固定)

転送ベースクロックの選択 : default = ギアクロック main.c : "#define UART_CLOCK"の値を変えることで転送ベースクロックを変更できます。

ボーレート : default = 115200(bps) main.c: "#define UART_BAUD_RATE"の値を変えることでボーレートが変更できます。
※転送ベースクロックを元に算出されます

3. 基本動作

100ms周期でTXD2からテストデータ(0xA3)を出力する。

4. 特記事項

特になし